

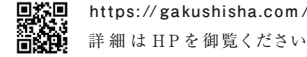
# お前らに正月はないぞ あるとすればそれは合格発表の日や 春に自分の手でつかみ取れ!



これは46年前の恩師の言葉です。  
12月のとある日、愛媛県立八幡浜高校本館2F、3年1組の担任は休みでした。  
2組の担任の大野先生(私の1年生の時の担任)が朝のホームルームの時間に突然教室に入ってきて言ったのです。  
そして踵を返しさっさと出ていきました。  
皆ポカ〜。私には先生の言葉がす〜と心に入ってきました。  
「なるほど、先生の言う通りだ」と。  
今でもはっきり覚えています。大晦日、夜中の2時まで勉強をし、翌朝8時に起きておせちを食べ、  
ブラックコーヒーを片手に部屋に戻り、エンジ色の山川出版の日本史の教科書と、問題集を開いて勉強を始めたこと。  
しかし眠たくて、水道の蛇口の下に頭を突っ込んで、冷たい水を流したこと。  
そしてタオルをねじり鉢巻きにして部屋に戻り「やるぞ〜やるぞ〜やるぞ〜」と隣の家に聞こえるくらい大声で叫んだこと。  
この季節になると懐かしく思い出します。  
勉強が大嫌いだっただ私は、秋になってやっと本格的な受験勉強を始めました。  
本気で行きたい大学がやっと見つかり「行きたい!」という気持ちが異常に高揚したのです。  
それまで峠が2つある12kmの道のりを50分かけて自転車通学していたのを、母に頭を下げバス通にしてもらいました。  
10月以降はトイレの中でも、バスの中でも、バス停から高校まで歩いているときも、  
風呂と食事の時以外は嫌で仕方がなかった勉強を、自分でも不思議なくらい1日中やりました。  
そうですね、中学生で5科目350点の生徒が5か月で450点まで上げないと合格できない、そんな感覚ですかね。  
そして受験時には何とか五分五分の戦いまでもっていったかな、と思えました。  
3月某日午後、「山田さ〜ん、電報です」と郵便配達の方の声。それまで4連勝で迎え、  
唯一頼んだ第一志望の合格電報が届いたのです。  
はやる心を押さえ封筒を破り、そして目に入ってきた文字は…  
無機質なカタカナの文字でした。「ザンネン サクラチル」  
「あ、そうなんだ」3回読み返し封筒に戻しました。  
そして縁側に座り、遠方に広がるミカン畑をぼ〜と眺めていました。  
だんだんこみあげてくる己の馬鹿さ加減、そして悔しさ。  
「なんでもっと早く…」そんな心境で視線を上に向けると、穏やかな春の青空、  
そこに浮かぶ白い雲。今でも鮮明に覚えています。一生忘れないでしょう。  
「あの思いを塾生には絶対にさせたくない」  
これが私が塾をやっている原点となっています。

自分を信じて学習してください。最後まであきらめないでください。  
本気の努力は嘘をつきません。神様は絶対に見ています。

## 冬期講習会2022

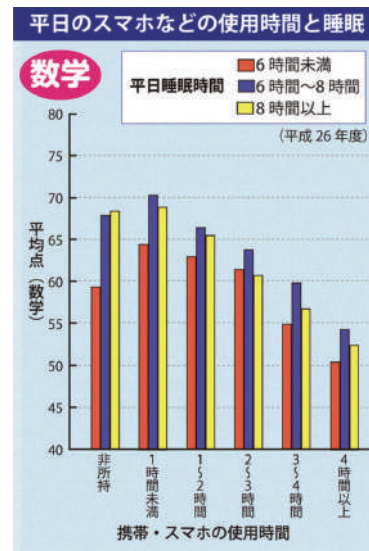


<https://gakushisha.com/>  
詳細はHPを御覧ください

学志舎

検索

受験生の皆さん、  
春に自分の手で  
「正月」をつかみ取ってください!  
全力で応援します!



# 学志舎

岐阜市で26年の塾運営経験を活かし、  
お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、  
徹底した自律学習指導を行っています。

さて、ここで私がなぜ今から46年も前の正月のことを鮮明に記憶しているかということ。  
人間は苦しいことと真剣に向き合って全力で挑戦したときに、またそれを乗り越えた時に、  
記憶の壁にそれがしっかりと残ります。  
その時は苦しいかもしれませんが、のちに思い出すと楽しい、よき思い出となります。  
人生には「やらないといけない、頑張らないといけない勝負の節目」というものが何度か訪れます。  
中3生にとっては初めての、高3生にとっては2度目が今、今この時なのです。  
あ〜だのこ〜だのつべこべ言っている暇はありません。  
とにかく入試の日までは何も考えずに走り切る。  
受験ではそう、第3コーナーを駆け抜け、いよいよこれから最後の直線です。  
ギアをさらに一段上げ、全力でゴールを目指してください。  
のちに振り返った時、受験生のこの時期が、  
君たちの人生の中でもピカピカに輝き、清々しい記憶としてよみがえるように。

特に来年度の受験生の皆さんへ  
さて、皆さんの中でも先日のサッカーW杯の日本vsドイツ戦見た方が多かったのではないのでしょうか?  
決勝ゴールを決めた浅野選手。翌日のTVで彼がこのようなコメントを残しています。  
「4年前代表に選ばれなくて悔しい思いをした。  
だから次は必ず選ばれるようにと思って、この4年間必死に頑張ってきた」  
そう、W杯やオリンピックを目指している選手は4年間頑張り続けているのです。  
4年後、晴れ舞台に立つ自分の姿を夢見て。  
さあ、高2・中2の生徒諸君、彼らの4年に比べればこれからの1年なんてあっという間ですよ。  
You tube? Line? Game?  
やるな!とはいいません。勉強の合間の息抜きになら良いでしょう。  
左のグラフを見てください。スマホ・ゲームの時間と学力の相関関係です。  
塾業界では有名なグラフです。1時間ゲームなり、  
スマホを触る生徒が一番学力が高いという結果になっています。  
でもその真実は「1時間する」ではなくて「1時間で勉強に戻れる生徒」なのです。  
さあ、あなたたちはいつスタートを切るのですか?思ったその時、今からスタートを切りましょう。  
七色の美しい虹っていつ見ることができるのでしょうか?それは雨の後です。  
これから受験まで雨に濡れてください。そして1年後の春、青空にかかる虹を見ましょ!  
最後までお読みいただきありがとうございます。学志舎 山田勝登

## 自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」=「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。



勉強の習慣付けを徹底

### 小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

### 中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう!

### 高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

## 国語力最優先指導

22年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、その結果で証明してきたのです。

## 褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、26年の経験の中で間違いありません。学志舎は20年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPを御覧ください



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

〒500-8085 岐阜市白木町92番地  
【お問い合わせ】平日10:00〜21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】